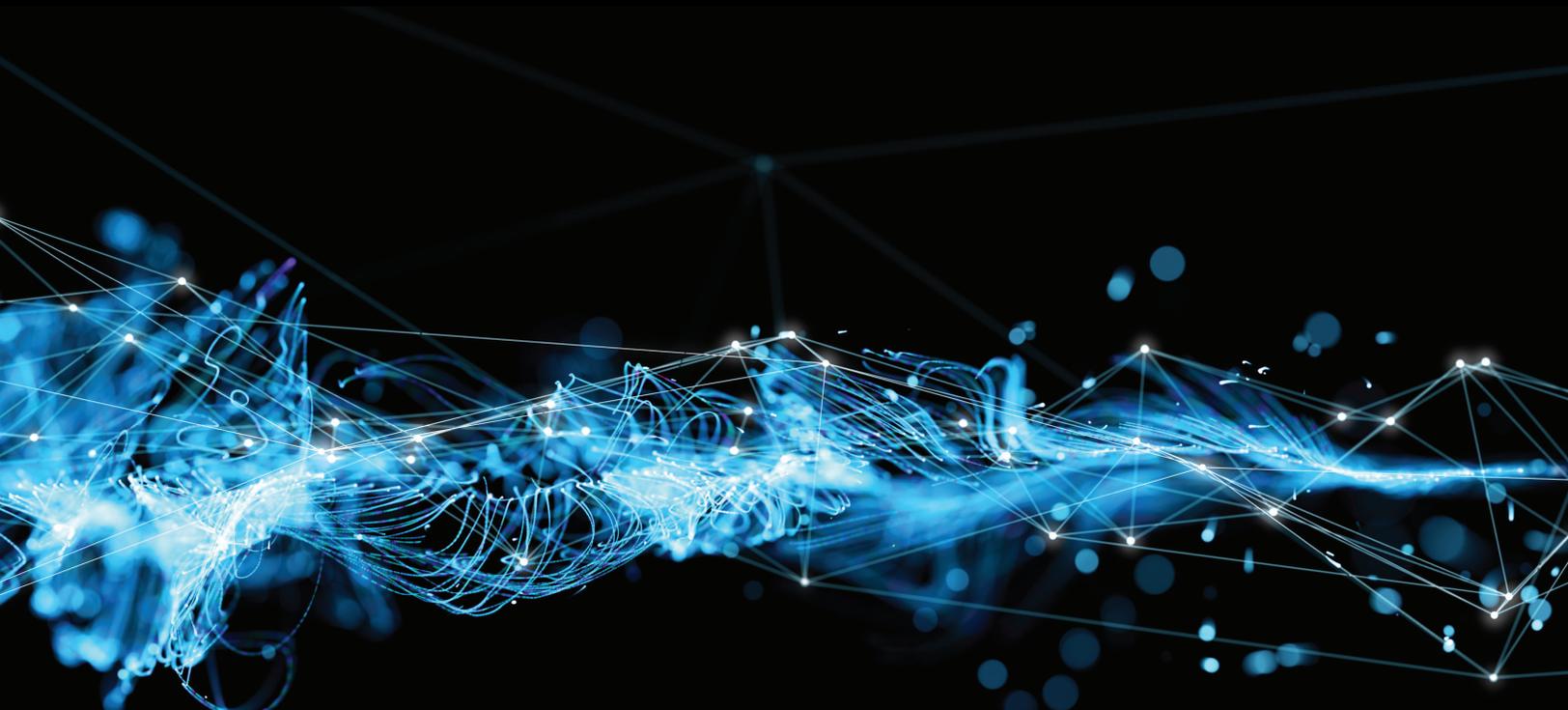


RELX レスポンスシブル AI 原則



RELX は、プロフェッショナルおよびビジネス顧客向けに情報に基づく分析および意思決定ツールをグローバルに提供し、より良い意思決定、より良い結果、より高い生産性を実現しています。

私たちは、研究者が科学に関する知識を発展させ、医師や看護師が患者の生活を向上させること。弁護士が「法の支配」を促進し、クライアントのために正義と公正な結果を達成すること。企業や政府が不正を防止すること。消費者が金融サービスにアクセスし、公正な価格をえること。顧客が市場をよく知って取引に役立つ製品を開発すること。これらすべてによって、社会に利益をもたらすことを目的としています。

私たちは、製品開発に留まらず、正しい行動をすることを企業目的としています。RELXの社員は日々、社会や地域に対して独自の貢献活動に取り組んでいます。

RESPONSIBLE ARTIFICIAL INTELLIGENCE PRINCIPLES AT RELX

RELX レスポンシブル AI 原則

私たちのソリューションは、社内外を問わず、人々の意思決定を強化します。

このアプローチは、企業責任への私たちのコミットメントによって支えられています。企業責任とは、プラスの影響を増大させ、マイナスの影響を防止するために積極的に取り組む、私たちのビジネスのあり方と定義しています。

私たちは、より付加価値の高いソリューションを提供するため、これまで以上に高度な分析とテクノロジーを駆使しています。当社の製品とアプリケーションは、洞察の提供から、潜在的なリスク要因の特定や推奨、顧客や社員の意思決定プロセスの支援に至るまで、情報ベースの分析および意思決定支援ツールの一連の過程におよんでいます。

ますます複雑化するテクノロジー、意思決定までの速度、人々の活動が相互に影響し合う世の中への変化は、新たな課題を生み出す一方で、社会に利益をもたらす機会も多く生み出しています。





責任あるAI原則の 目的と範囲

一般的に、人工知能(AI)という用語は、設定されたタスクに対する解決策を推論し、ある程度の自律性を持つ機械ベースのシステムを表すために使用されます。しかし、本原則の適用範囲はAIよりも広く、データサイエンス分野のツールや技術から得られる機械主導の洞察も含まれます。本原則は、機械主導の洞察の設計、開発、導入に取り組むRELXのすべての人に、ハイレベルなガイダンスを提供します。この原則は、当社内および他の組織のベストプラクティスに基づくリスクベースのフレーム

ワークを提供します。この原則を実践するのは、各事業分野です。

RELXとその事業は、AIを活用したソリューションに適用できる強固な方針とプロセスをすでに導入しています。レスポンシブルAI原則の目的は、これらを補完することです。AIは、かつてないスピードと規模で絶え間なく進化する分野です。この原則は、同僚や顧客からのフィードバック、業界や法制の動向に基づいて、時とともに変化していきます。これにより、私たちは積極的に行動し、私たちの価値観に沿ったソリューションを開発し、市場におけるオピニオンリーダーとしての姿勢を維持することができます。

責任あるAIアプローチの一環として...

- 
 1. 私たちのソリューションが実社会で人々に与える影響を考慮します
- 
 2. 不公平な偏見の創出や強化を防ぐための行動を起こします
- 
 3. 私たちは、当社のソリューションがどのように機能するかを説明することができます
- 
 4. 人的な監視によって説明責任を果たします
- 
 5. プライバシーを尊重し、強固なデータガバナンスを支持します



#1 当社は、私たちのソリューションが 実社会で人々に与える影響を考慮します

このように深く考慮することで、当社の価値観に沿った信頼できるソリューションを生み出すことができます。

私たちのソリューションがお客様の意思決定を支援する可能性があることを認識し、私たちのソリューションが人々に与える潜在的な影響に配慮しています。

AIは、私たちの会社だけでなく、お客様のビジネス上の問題を解決するための手法であり、一連の前提条件と特定の現実世界のコンテキストを意味します。その文脈をよりよく理解し、自分たちの前提をよりよく認識すればするほど、より優れたソリューションを生み出し、顧客にとっての付加価値を高めることができます。

私たちは、“何を作るのか、顧客は誰なのか”を問うだけではありません。私たちは、私たちのソリューションから恩恵を受ける人々の範囲とその方法、そして影響を受ける可能性のある人々とその理由を特定しようとしています。

そのために、ソリューションの影響範囲を定義します。直接の顧客以外のステークホルダーをマッピングし、ソリューションが適用される領域について考えます。これらの洞察により、特定のソリューションの影響を検討することができます。





#2 不公平な偏見の形成や助長を防ぐために行動を起こします

これにより、質の高い結果をもたらし、差別を回避することができます。

国連グローバル・コンパクトのサポーターとして、公正と差別なき行動を推進することは、私たちのビジネス哲学と価値観の中核をなすものです。

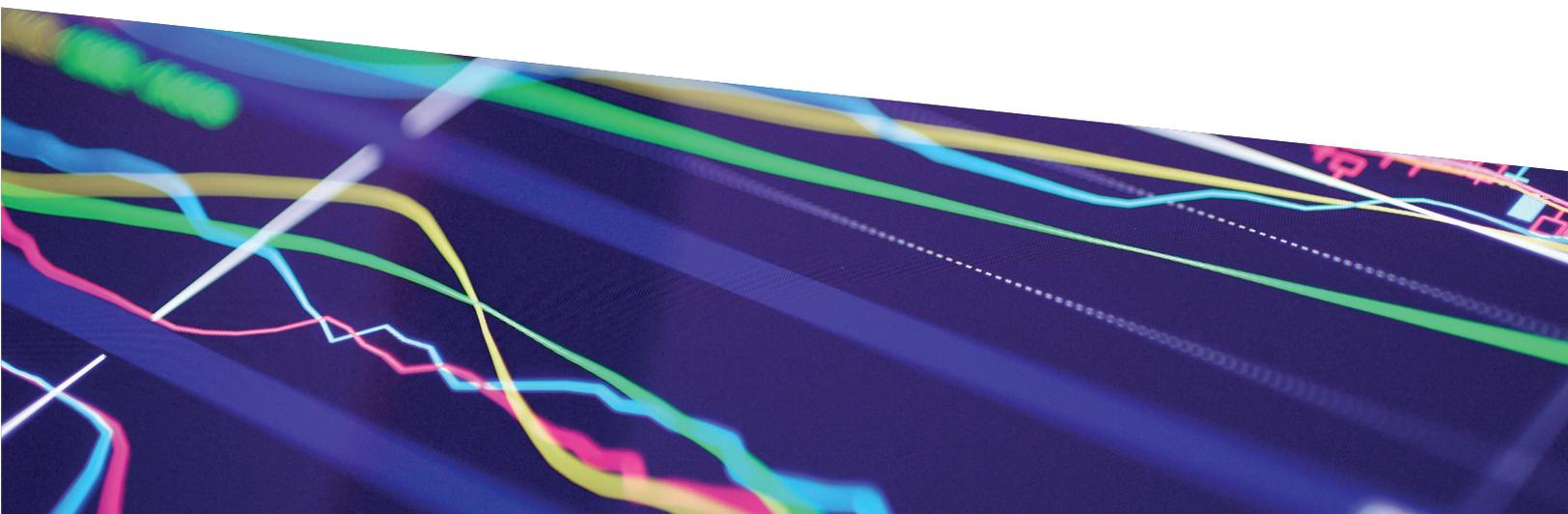
私たちは、数学的精度だけでは偏りがないことを保証できないことを理解しており、だからこそ不公平な偏りが生じたり強化されたりすることを防ぐために行動しています。

このような措置が取られない場合、データ入力や機械処理、アルゴリズムを通じて不注意に偏りが導入される可能性があります。いったん偏りが生じると、データサイエンス、製品管理、テクノロジーにまたがる人間の

意思決定を通じて、偏りが再現される可能性があります。

そして、結果が偏ることで、アウトプットの価値が下がるおそれがあります。また、性別、民族性、社会経済的地位、その他の個人的属性に基づいて、個人やグループにとってあまり好ましくない結果につながる可能性もあるでしょう。

不当なバイアスの発生や強化を防ぐための私たちの行動には、プロセスの導入、広範なレビューと文書化プロセス、利用可能な自動偏向検出ツールの使用などが含まれます。





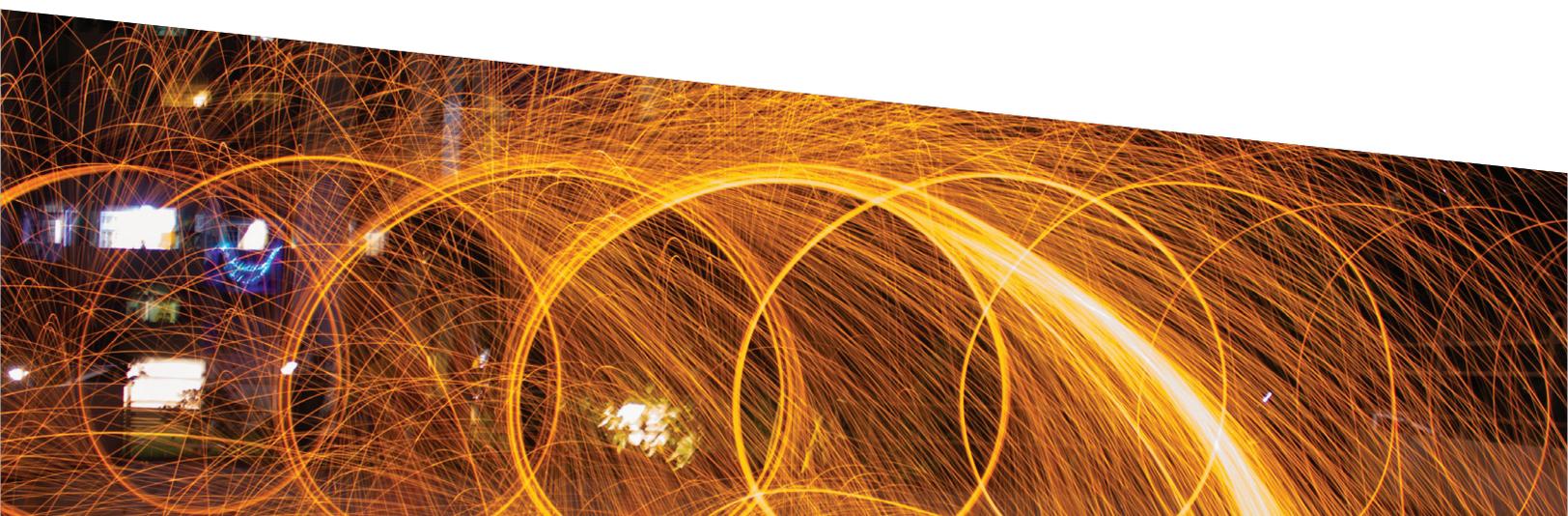
#3 私たちは、当社のソリューションがどのように機能するかを説明することができます

適切なレベルの透明性は、ユーザーや規制機関に対する信頼を築きます。

この原則は、どのようなモデルを構築し、使用するかを規定するものではなく、「クローズドボックス」モデルの使用を禁止するものでもありません。

目的は、それぞれのアプリケーションやユースケースに対して適切なレベルの透明性を持たせ、様々なユーザーがアウトプットを理解し、信頼できるようにすることです。

それぞれの文脈や対象者によって、必要な説明は異なります。設計プロセスの一環として、ソリューションのどの要素について説明が必要か、誰に説明が必要か、どのように説明するかを検討します。また、ソリューションの信頼性を評価し、その使用目的を明確にします。





#4 人的な監視によって説明責任を果たします

これにより、機械出力の継続的で強固な品質保証が可能になり、意図しない使用を未然に防ぐことができます。

私たちのテクノロジーは、お客様の意思決定プロセスを支援します。AIシステムの開発、使用、結果に対して人間がオーナーシップと説明責任を持つことが重要です。

私たちは、ソリューションのライフサイクルを通じて、適切なレベルの人的監視を行っています。これは、私たちのソリューションの品質と適切なパフォーマンスを確保するための核となるものです。

ソリューションが私たちの手を離れた後は、お客様が最終的な意思決定者の役割を担うこととなります。当社のソリューションの使用は、適用される法律と同様に、合意された一連の条件によって管理されます。私たちは、これらの条件に対してお客様が説明責任を有することを前提としています。カスタマー・サポート担当者は、使用目的がお客様に理解され、品質問題が社内チームによって適切に処理されることを確実にする上で重要な役割を持っています。





#5 プライバシーを尊重し、 強固なデータガバナンスを支持します

これにより、当社は情報ソリューションの信頼できるプロバイダーとして認識され続けることができます。

データの適切な収集、使用、保護は、情報分析ビジネスとして長期的に成功するために不可欠です。

データ資産を維持・拡大し、洞察を生み出す新たな方法を発見するためには、強力なデータガバナンスが不可欠であると認識しています。AIシステムは、大量の高品質なデータが供給されることで、より正確に機能します。また、一部のデータセットは、複数のソリューションで、複数の目的で利用されます。私たちは、堅牢なデータ管理とセキュリティの方針と手順を確実に実施する必要があります。

データセットの中には個人情報を含むものもあります。当社は、適用されるすべての個人情報保護法および規制、ならびに当社独自の個人情報保護原則に従って個人情報を取り扱うことを徹底しており、個人情報の責任ある管理者として常に行動することを求めています。

